

2024年3月27日 13:00~16:00

第40年次第5回自治研中央推進委員会

◆◆ 次回推進委員会の日程について ◆◆
第6回 5月30日(木) 13:00 ~ 16:00
自治労会館「6階ホール」

全日本自治団体労働組合
自治研中央推進委員会

【報告事項】

1. 自治研中央推進委員の登録状況
2. 経過報告（本部の取り組み）
3. 経過報告（各県の取り組み）

【協議事項】

1. 「月刊自治研」関連事項
2. 「第40回地方自治研究全国集会」関連事項
3. 地連・分科会ごとの打ち合わせ（BR）

自治研中央推進委員の登録状況

北海道本部	羽場 尚樹
青森県本部	畠山 正蔵
岩手県本部	日蔭 丈朗
宮城県本部	菅原 浩志
秋田県本部	加藤 俊幸
山形県本部	佐藤 茂雄
福島県本部	鈴木 茂
新潟県本部	山本 善人
群馬県本部	後藤 典政
栃木県本部	村野 祐輔
茨城県本部	林 佑宜
埼玉県本部	成岡 英一郎
東京都本部	西岡 芳宏
千葉県本部	平野 寛
神奈川県本部	中山 真一

山梨県本部	後藤 真彦
長野県本部	古谷 明久
富山県本部	荒川 幸一
石川県本部	直江 優介
福井県本部	橋本 和久
静岡県本部	大木 恭
愛知県本部	片岡 靖貴
岐阜県本部	平光 貴博
三重県本部	宮脇 拓也
滋賀県本部	亀井 直弘
京都府本部	榎田 博之
奈良県本部	須貝 縦
和歌山県本部	日吉 邦彦
大阪府本部	中園 勝也
兵庫県本部	中川 敬一
岡山県本部	島岡 夏輝

広島県本部	山崎 由美子
鳥取県本部	稲田 いずみ
島根県本部	大崎 康弘
山口県本部	古川 裕之
香川県本部	久保 武士
徳島県本部	山本 雄一郎
愛媛県本部	西尾 祥之
高知県本部	中岡 歩美
福岡県本部	織戸 智奈美
佐賀県本部	井上 次人
長崎県本部	本田 恵美子
大分県本部	高本 啓一郎
宮崎県本部	溝邊 貴幸
熊本県本部	阿蘇品 雄貴
鹿児島県本部	階元 仁
沖縄県本部	大井 尚

* 委員変更の際は、本部事務局までお知らせください

経過報告（本部の取り組み） | ガルーン・スペースの活用について

しまね自治研に向けて、分科会担当ごとの日常的な協議、情報の共有化を円滑に行うため、自治研中央推進委員の連絡体制を、「サイボウズ・ガルーン」に一元化しました。
自治研中央推進委員に交代が生じた際は手続きが必要となりますので、必ず本部にご連絡ください。

「+ディスカッションを追加するボタン」で、スレッドを分類することができます。

議論が散漫にならないよう、期日を区切って集中的に議論を進めたり、

情報がコメントが埋もれないように、分類して活用してください。



The screenshot shows a workspace interface with a top navigation bar containing icons for Portal, Space, Link Collection, Schedule, Message, Noticeboard, File Management, Personal Memo, Phone Memo, To-do List, Address Book, Mail, Workflow, Favorites, Notification, Shared Page, and Document Management. The current workspace is titled "【しまね自治研】第1分科会・自治研入門 (非公開)".

Members: 12人 [前田 藍 \(中央本部\)](#) [鈴木 主税 \(北海道本部\)](#) [日藤 丈朗 \(岩手県本部\)](#) [菅原 浩志 \(宮城県本部\)](#) [加藤 俊幸 \(秋田県本部\)](#) [佐藤 茂雄 \(福島県本部\)](#) [山本 善人 \(新潟県本部\)](#) [氷室 佐由里 \(中央本部\)](#) [八巻 由美 \(中央本部\)](#) ... (→ メンバーをすべて表示する)

Discussion: 共有ToDo

★ 2023.12.11~22 分科会企画議論 (1) 企画書の内容 フォロー中

現時点での企画内容について2023年12月22日まで議論します。

ディスカッションへの参加として、このコメントへの「確認しました」をお願いします。以降、コメントを追加して、12/22集約とします。

更新者: [佐藤 茂雄 \(山形県本部\)](#) 2023年12月08日 (金) 14:22

☺ 2 確認しました。

@宛先指定 テキスト 書式編集

コメントの入力

経過報告（本部の取り組み） | SNSの活用について

フェイスブック、ツイッターを用いた、自治研の情報発信を行っています。
今後、細かい案内や情報についても随時アップしていきますので、フォロー・拡散をお願いいたします。



経過報告（本部の取り組み） | カウントダウンセミナー「自治研式・組織強化」

2月28日、しまね自治研・カウントダウンセミナー「自治研式・組織強化」をウェブにて開催し、約90人が参加しました。

受付中 事例をもとに自治研の活用術を解説

自治研式 組織強化



2024年2月28日 14:00-16:00 オンライン(ZOOM)

参加無料 お申し込みは単組・県本部まで ➡

<プログラム>

- 「自治研式組織強化 しずおか自治研を振り返って」
静岡県本部 執行委員長 福井 淳
- 「自治研活動こそ自治労の組織強化」
島根県本部 松江市職ユニオン 組織強化委員 丹羽野 真也
- 講評
「月刊自治研」編集委員 菅原 敏夫

* 福井さんの講演内容は「月刊自治研」5月号に掲載

* 動画は4月末まで事後配信中

<https://youtu.be/aFJbIBgIfIY>

(URLはスペースにも掲載しています)

自治研戦略①「見える化」

毎回100人前後の参加があり、身近な課題に引き寄せて自治研活動を発信していく場、また、自治研的課題や情報を定期的に共有できる場として、ニーズに即した役割を果たしていると言えます。

しまね自治研においても、自治研活動の「見える化」をポイントにプログラムに反映していきます。

自治研戦略②「学び・成長の機会を代替」

自治体においては人的投資への対応が遅れており、とりわけ若年層の満足度の低下要因にもなっています。自治体職場で学び・成長の機会が十分に得られないなら、その機会を代替的に提供するのには労働組合・自治労しかありません。自治研のフィールドにおいて、自主的な学びを誘発するようなセミナーを、年間を通じ企画・運営していくことは、今後の自治研の成長戦略の要になると言えます。

日時	テーマ	参加者数
8月18日（金）	「自治研ってなに？ 地域のためにできること」 講師：自治研中央推進委員 橋本和久ほか	70人
12月19日（火）	「つながる自治研ー『これからの10年』を考えるー」 講師：九州大学 嶋田暁文教授	120人
2月28日（水）	「自治研式・組織強化」 報告者：静岡県本部 執行委員長 福井 淳 島根県本部 松江市職工ユニオン 丹羽野 真也	90人

4月22日（月）13：00-17：00【自治労発2024第0288号】

- 「コミュニティ・オーガナイズingに学ぶ自治の力」
- 講師：コミュニティ・オーガナイズing・ジャパン 松澤桂子さん

6月●日（●）13：00-16：00

- 「しまね自治研プレトーク①ー分科会の見どころ紹介ー」
- プレゼンター：各分科会担当

8月●日（●）13：00-16：00

- 「しまね自治研プレトーク②ーしまね自治研の歩き方ー」
- プレゼンター：自治研事務局、島根県本部

自治労発2024第0160号（2月9日付）にて、しまね自治研におけるレポート・論文の募集についてご案内を開始しました。



しまね自治研・第17回地方自治研究賞

レポート・論文募集

地方自治・住民自治に関するテーマのレポート・論文を募集します

自治体行政への政策提言または実践経験、市民参画による政策実現や公共サービス事業運営の試み、コミュニティづくりの実践や市民ワークショップなど、自治に関するさまざまなテーマのレポート・論文を募集します

応募締め切り

2024年7月12日（金）一次締め切り
2024年8月9日（金）最終締め切り

応募規定

【レポート】6000字程度、（スライド、動画でのご応募も可）
【論文】8000字程度（上限は1万字）

ポイント

- ・募集するレポート・論文は分科会のテーマに限定していない。幅広い分野から応募が可能
- ・パワーポイント等のスライド、動画形式での応募も可
- ・希望者はしまね自治研のポスターセッションに参加できる
→ポスターセッションの要項については、後日、発文にてご案内します

スケジュール

- | | |
|----------|------------|
| 7月12日（金） | 一次締め切り |
| 8月9日（金） | 最終締め切り |
| 9月上旬 | 自治研賞選考 |
| 9月中旬 | 自治研賞・受賞作発表 |

経過報告（本部の取り組み） | 自治研賞へのご寄付の受領について

佐藤俊一元東洋大学法学部教授より、自治研事務局に対し寄附の申し出があり、2024年2月16日に入金を確認、2月26日の中央執行委員会にて報告いたしました。

（中執報告より一部抜粋）

1. 経過

寄附者である佐藤俊一さんは、長らく助言者として自治研究全国集会に参加し、「自治研のてびき」改訂小委員会や地方自治研究賞選考委員長を担うなど、自治研活動にご尽力いただいていた。自治研活動のさらなる発展を期し、今回、寄附の申し出を頂いた。

頂いた寄附については、寄附者のご意向を尊重し、自治研活動の発展に活用するべく、カンパ会計積立金預金積立（地方自治研究賞）に積み立てることとする。なお、具体的な活用方法については、今後、自治研中央推進委員会で検討し、あらためて、中執会議にて協議・報告することとする。

2. 寄附金の用途

地方自治研究賞

3. 寄附金額

10,000,000円

カンパ会計積立金預金	自治研究賞積立額	: 13,441,806円（2024年2月21日現在）
		<u>合計</u> : <u>23,441,806円</u>

【報告事項】

1. 自治研中央推進委員の登録状況
2. 経過報告（本部の取り組み）
- 3. 経過報告（各県の取り組み）**

【協議事項】

1. 「月刊自治研」関連事項
2. 「第40回地方自治研究全国集会」関連事項
3. 地連・分科会ごとの打ち合わせ（BR）

【報告事項】

1. 自治研中央推進委員の登録状況
2. 経過報告（本部の取り組み）
3. 経過報告（各県の取り組み）

【協議事項】

1. **「月刊自治研」関連事項**
2. 「第40回地方自治研究全国集会」関連事項
3. 地連・分科会ごとの打ち合わせ（BR）

「月刊自治研」 関連事項 | 各県の購読状況と販売促進について

「月刊自治研」の発行は年間購読契約に支えられています。年間契約の切り替えとなる4月期は例年、一年を通して最も購読者が減少するタイミングであり、購読継続の取り組み強化が求められます。

各県の定期購読数の推移（3月19日時点）

県本部	2022年4月	2023年4月	2024年3月	2024年4月 (暫定値)	3-4月期 増減
北海道	233	226	268	254	-14
青森	48	48	48	47	-1
岩手	65	64	64	64	0
宮城	56	54	54	53	-1
秋田	28	28	28	28	0
山形	67	67	69	61	-8
福島	34	33	33	31	-2
新潟	87	88	87	83	-4
群馬	38	38	37	37	0
栃木	44	43	44	44	0
茨城	68	68	68	67	-1
埼玉	39	38	39	33	-6
東京	198	202	202	198	-4
千葉	26	21	21	21	0
神奈川	205	191	188	188	0
山梨	31	31	30	31	1
長野	43	39	39	38	-1
富山	47	40	40	40	0
石川	34	34	34	27	-7
福井	15	14	14	11	-3
静岡	20	20	20	20	0
愛知	58	56	54	52	-2
岐阜	68	66	66	64	-2
三重	93	93	96	91	-5
滋賀	27	27	27	27	0
京都	29	29	29	29	0

県本部	2022年4月	2023年4月	2024年3月	2024年4月 (暫定値)	3-4月期 増減
奈良	28	28	28	28	0
和歌山	29	26	20	18	-2
大阪	183	159	156	155	-1
兵庫	73	66	66	65	-1
岡山	66	64	69	68	-1
広島	181	178	179	178	-1
鳥取	75	78	78	77	-1
島根	81	81	81	80	-1
山口	66	64	63	63	0
香川	67	65	65	61	-4
徳島	67	65	64	64	0
愛媛	12	12	14	13	-1
高知	43	46	45	45	0
福岡	113	108	110	101	-9
佐賀	88	68	62	60	-2
長崎	55	65	66	66	0
大分	133	128	127	127	0
宮崎	48	47	46	46	0
熊本	74	75	74	73	-1
鹿児島	95	93	93	93	0
沖縄	91	90	89	88	-1
県本部小計	3,369	3,264	3,294	3,208	-86
本部	407	395	395	394	-1
合計	3,776	3,659	3,689	3,602	-87

すでに3-4月期で87部の減少！

- ・ 6割の県本部で減少
- ・ 単組の購読部数が「0部」に変更
- ・ 「月刊自治研」を購読していない単組が拡大している

* 県内の購読状況の内訳については、出版センター（担当・出口）までお問い合わせください

ボリュームディスカウントの試験導入

4月号「イマドキの自治体広報を考える」（4月5日発行）

自治体広報は、従来の広報紙中心の広報からシティ・プロモーションへと変わりつつある。SNS などによる発信が注目を集めるなか、住民との対話や協働につながる“自治研”的視点から、イマドキの自治体広報のあり方を考えてみたい。

5月号「自治研活動の“はじめの一步”」（5月5日発行）

自治研活動を始めよう！でも、どこから、どうやって？ 地域や職場の課題解決にむけて、仲間づくり、そして実践へと、自治研活動のステージごとにどんなアプローチが可能か、ともに考えてみたい

20冊以上 1 割引 1冊685円+税 送料込み

50冊以上 2 割引 1冊610円+税 送料込み

* 該当号の前月20日までのお申込みに適用。以降は在庫の限り対応

* 詳細は【自治労情報2024第0057号】にてご確認ください

国会議員への購読の呼びかけ

2月号「どうなる？2024年度自治体財政」は国会議員が「月刊自治研」を引用し質問を行いました。この内容をメディアが報道したことで、多数の注文が入るという好循環が実現しました。「月刊自治研」のプレゼンスをあげていくためにも、特集テーマに応じた単号での販売にも取り組み、年間購読につなげていくことが重要です。

本部事務局では、「分権自治フォーラム」に加入している国会議員を中心に営業を行い、3月21日時点、新規購読27人のご契約をいただきました。

購読のお申し込みをいただいた国会議員

後藤 祐一、末松 義規、小沼 巧、石垣 のりこ、堂込 麻紀子、金子 恵美、野間 健、岡本 あき子、
渡辺 創、塩村 あやか、高木 真理、石川 香織、森本 真治、本庄 知史、山井 和則、小川 淳也、
小西 洋之、早稲田 ゆき、荒井 優、福島 伸享、神谷 裕、芳賀 道也、泉 健太、佐藤 公治、
福田 昭夫、大串 博志、水野 素子（順不同）

参考：購読いただいている国会議員

古賀 之士、吉川 元、小沼 巧、打越 さく良

電子書籍での販売開始

「月刊自治研」は創刊から55年を迎えました。さらなる読者層の拡大に向けて、従来の紙媒体での販売に加えて、電子書籍での販売を開始いたします。

導入時期：2024年5月号からを予定

購入方法：「FUJISAN.CO.JP」において単号販売



導入目的

- ・ 購入場所が「自治労出版センター」に限られており、一般読者層においては購入までのハードルが高かった
- ・ 「月刊自治研」で扱うテーマは多岐にわたっており、特集テーマにあわせた読者層へのアプローチが可能になる
- ・ 研究者を中心に検索が容易な電子書籍化への要望が高かった
- ・ 「FUJISAN.CO.JP」は関連サービスとして、図書館向けサービスを運営。導入している図書館においては、図書館利用者は無料で「月刊自治研」が閲覧可能になる（95の自治体、405館で導入）

* 従来の紙媒体の販売形式に変更はありません。電子書籍はより多くの方が入手できるようオプションとしての位置づけとなります

【報告事項】

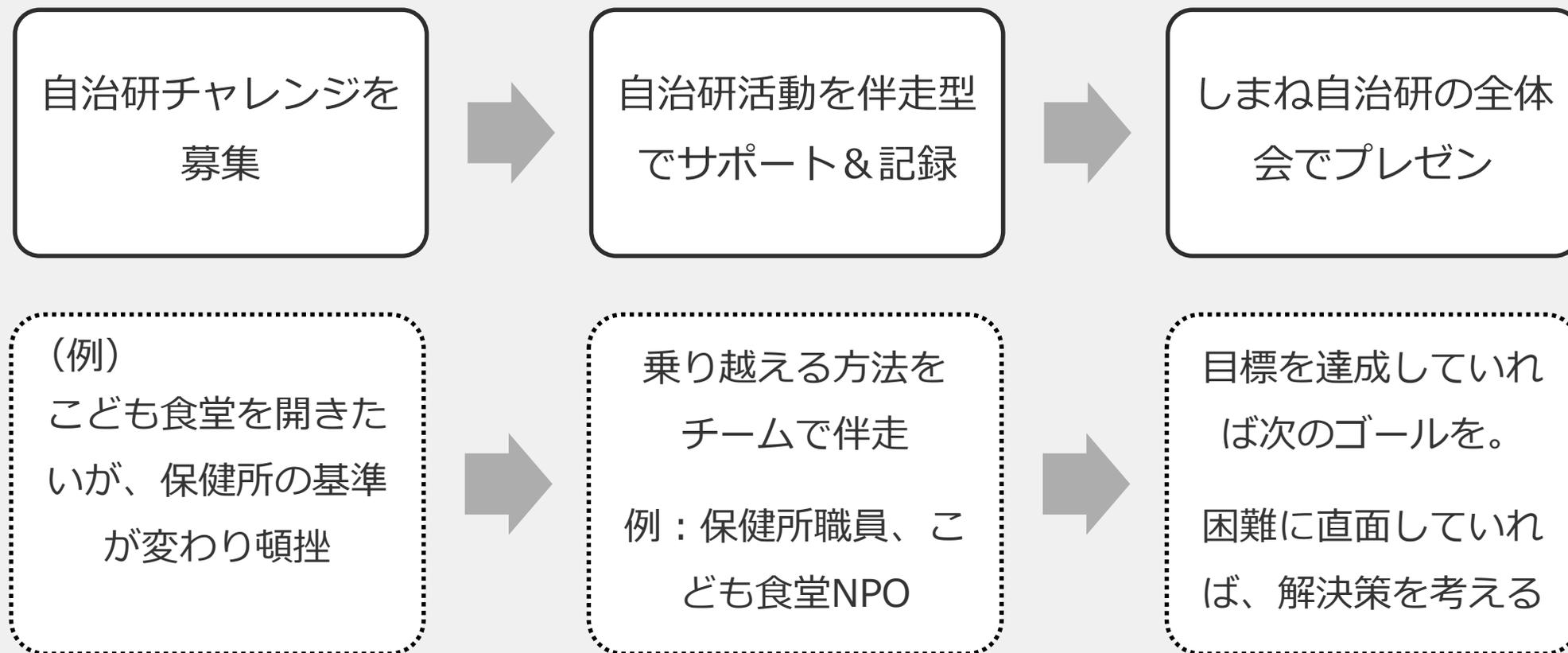
1. 自治研中央推進委員の登録状況
2. 経過報告（本部の取り組み）
3. 経過報告（各県の取り組み）

【協議事項】

1. 「月刊自治研」関連事項
2. 「**第40回地方自治研究全国集会**」関連事項
3. 地連・分科会ごとの打ち合わせ（BR）

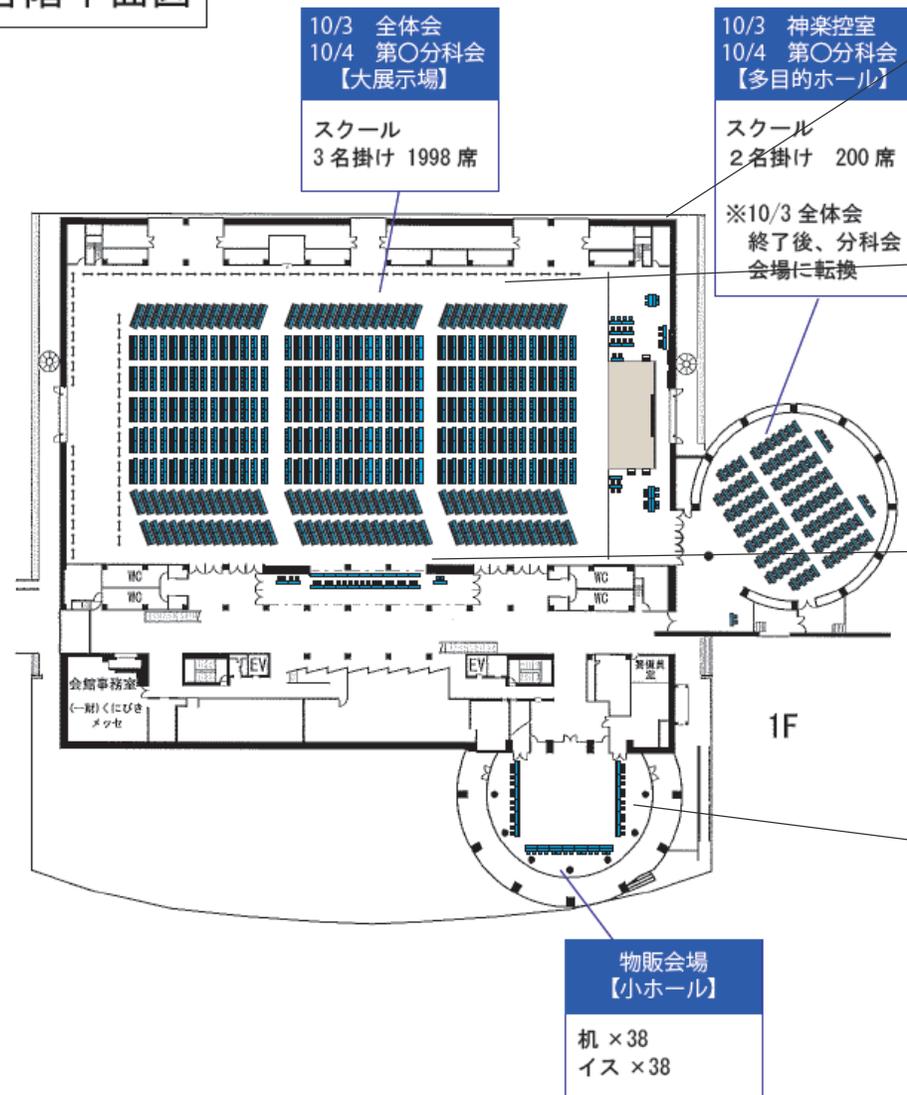
① 自治研の実践が見えるプログラム

「自治研=わかりにくい」というイメージを払しょくするために、自治研のスタートから困難の乗り越え方、ゴールまでがイメージできるような自治研の見える化をはかる。



しまね自治研 | 集会会場イメージ (今後の議論によって変更余地あり)

各階平面図



【メインステージ：大展示場】

しまね自治研のメインプログラム

レポートをもとにしたポスターセッションエリアを設置。

16:00からは参加者が自由にエリアを行き来できる

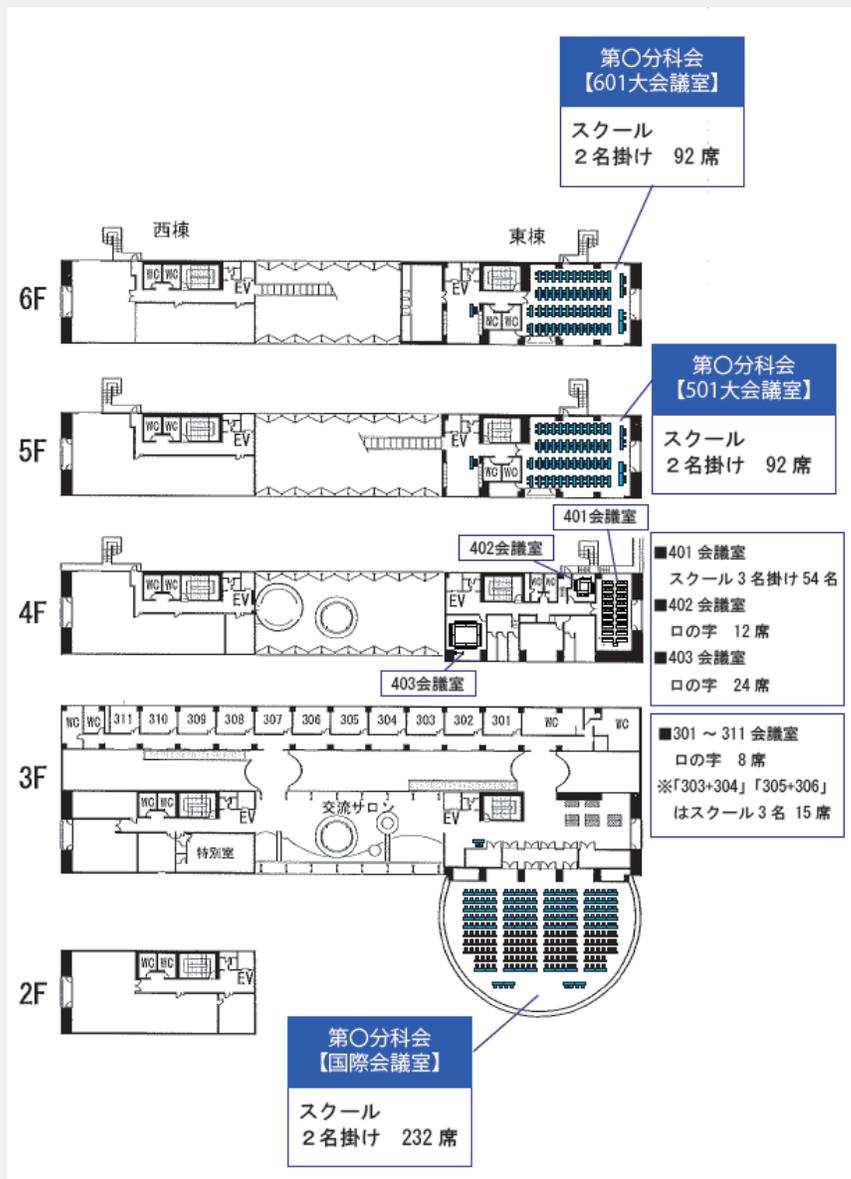
【エントランス周辺】

- 参加者受付
- ツアーデスク
- 本部系ブース（地方自治研究センター、じちろう共済、出版センター）
- フードロス対策のボランティアエリア

【小ホール】

- ご当地系物販（その1）

しまね自治研 | 集会会場イメージ (今後の議論によって変更余地あり)



10月5日は「くにびきメッセ」全館を使って分科会を開催

分科会の他にも、

- ▶ 月刊自治研PRブース
 - ▶ 次世代向けイベントブース
- などの設置を企画中

分科会会場は「くにびきメッセ」の他に下記の会場を確保。

- ・第1分科会「ホテル白鳥」
- ・第7分科会「石央文化ホール」(浜田市)
- ・県本部特別分科会「石見銀山世界遺産センター」(大田市)
- ・ホテル一畑「平安の間」
- ・島根県民会館「大会議室」

参加申し込みの状況を見たとうえで、分科会の割り振りを行うため、分科会会場の決定は8月以降になります

② 「市民自治の豊かな社会」を集会で体現したい

住民参加を意識した集会づくりを行い、自治研活動を通じた質の高い公共サービスに触れてもらう機会とします。また、ポスターセッションなどを通じて、参加者同士の交流を促し、実践共有や連携をはかります。また、集会におけるフードロス対策、次世代向けの企画なども取り入れて、集会自体が自治研を行う場として機能させます。



フードロス対策

フードロスは資源やエネルギーを使って生産・流通させた食品を、さらなるエネルギーをつかって一般廃棄物として処理する。大量の弁当廃棄は開催地の環境負荷につながる

しまね自治研でフードロスに挑戦することで、自治研の「見える化」につなげる

全体会のメインプログラムのひとつは、しまね自治研に寄せられたレポートをもとにした「ポスターセッション」です。各県の自治研中央推進委員イチオシのレポートをもとにした「ポスターセッション」へのご参加をお願いいたします。

しまね自治研では、参加者同士の相互交流が生み出す自治研効果のひとつの仕掛けとして「ポスターセッション」を活用します。

(ポスターセッションの要項は、準備ができ次第、発文いたします)



ポスターセッション

集会初日の16:00からはレポートをもとにした「ポスターセッション」を行います

ポスターセッションの企画・運営に携わってくださる推進委員を募集します

(ポスターセッションを見たこと・聞いたことないメンバーでも大丈夫です)

しまね自治研までのスケジュール

- 3月27日 第5回自治研中央推進委員会@オンライン
- 4月1日 分科会企画締め切り（調整中含めて、一旦FIX）
- 4月 募集要項・校正作業（4/19校了予定）
- 5月上旬 **募集要項（リーフレット・ポスター）配布開始**

- 5月30日 第6回自治研中央推進委員会@対面
- 6月●日 カウントダウンセミナー・各分科会みどころ紹介
- 7月 参加者申込締切（一次）
- 8月 参加者申込締切（二次）
分科会における要請レポート・発文
第6回自治研中央推進委員会@対面

- 10月4～5日 しまね自治研（※推進委員は前日入り）

※分科会打ち合わせは上記スケジュールと並走して、随時独自で開催

【報告事項】

1. 自治研中央推進委員の登録状況
2. 経過報告（本部の取り組み）
3. 経過報告（各県の取り組み）

【協議事項】

1. 「月刊自治研」関連事項
2. 「第40回地方自治研究全国集会」関連事項
3. **地連・分科会ごとの打ち合わせ（BR）**

本日のアジェンダ

- 募集要項に掲載する文章を策定してください
- 分科会企画の締め切りは4月1日（厳守）です。調整中含めて、一旦FIXしてください
- 入稿後、ゲラができ次第、分科会のスペースにアップしますので、最終校正をお願いします（このタイミングで微修正可）

留意事項

- 定員制とする場合は、必ず募集要項への明記をお願いします
- フィールドワークを行う場合は、必ず事前に島根県本部との情報共有をお願いします